

2021（令和3）年度
特定非営利活動法人アートNPOリンク 事業報告書

特定非営利活動法人アートNPOリンク

1. 事業の成果

今年度は、フォーラム事業、調査研究事業、コーディネート事業を核として、事業を展開した。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア. 芸術・文化およびそれに関連するフォーラム事業

「全国アート NPO フォーラム in 熱海」(2022年2月26日・27日、会場：熱海・來宮神社 参集殿/Atelier&Hostel ナギサウラ、協力：アーツカウンスルしずおか、企画・運営：アート・アンド・ネットワーク)として、3年ぶりとなるフォーラムを、対面とオンラインによるハイブリッド形式で開催した。テーマは「アートツーリズムを再考する」。コロナ禍以降のアートツーリズムについて考える企画で、全国のアート関係者をつなぎ、各地の先進的な試みや、アートが果たす地域での役割や観光との関わりについて対話を行った。

また、「毎月第1木曜日朝7時半のミーティング」として、理事及び会員を対象に、任意参加でカジュアルな月1回の定例ミーティングを実施した（原則として、毎月第1木曜日の朝7時半から8時半）。各自の活動に関する情報交換や、アート NPO リンクの事業内容や進め方のブレインストーミング、各事業の進捗状況を共有した。なお、ミーティングでの議論や共有した情報を集約したレポートの制作は、人員不足のため作成に至らなかった。

日時：2021年4月1日から2022年3月31日まで/場所：オンラインおよび対面/従事者人員：2人/受益対象者：99人/支出額：629,960円

イ. 芸術・文化およびそれに関連する国際交流事業

該当事業なし。

ウ. 芸術・文化およびそれに関連するワークショップ事業

該当事業なし。

エ. 芸術・文化およびそれに関連する情報収集・発信・調査研究事業

継続している調査研究として、2018年度から4年目となる一般社団法人楽友協会おきなわによる「音楽体験を通じた不登校児童・生徒の社会的接点をつくる音楽プログラムの検証に関する調査」を行った。不登校児童・生徒が音楽体験を通じた変化にも、回を重ねるごと

に、また個々人によって異なる影響が垣間見えた。

また、大阪・堺アーツカウンシルの調査として、調査研究の内容と方法、補助対象事業の来場者・参加者へのアンケート調査の集計分析などを行った。あわせて当団体理事長の大澤寅雄が同カウンシルのプログラム・オフィサーに就任し、調査研究・情報発信をはじめとした将来的な事業連携の展望を持つことができた。

日時：2021年4月1日から2022年3月31日まで／場所：オンライン等／従事者人員：1人／受益対象者：2団体／支出額：666,320円

オ. 芸術・文化およびそれに関連するコーディネート事業

厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」連携事務局を担い、全国各地の福祉系・アート系団体とのネットワーク構築を行った。主に各都道府県の障害者芸術文化活動支援センター、広域支援センター、都道府県の事業担当者向けとなる全国連絡会議や、広域センターミーティングの運営などを担った。各地のアーツカウンシルとの連携も行い、アートNPOの社会的ポジションの確立に向けて前進することができた。

日時：2021年4月1日から2022年3月31日まで／場所：オンライン、アートNPOリンク事務所等／従事者人員：1人／受益対象者：40団体／支出額：14,500,000円

カ. 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第4章の規定による労働保険事業組合としての業務

該当事業なし。

キ. その他、目的を達成するために必要な事業

該当事業なし。

(2)その他事業

なし。